



令和5年(2023)5月26日

マンガふるさとの偉人「たまごパック生みの親 加茂守」の完成について

【概要】

B&G財団の「B&G海洋センター所在自治体による偉人マンガの製作と活用事業」の助成金を活用して製作した「マンガふるさとの偉人 たまごパック生みの親 加茂守」が完成しました。

(1) 偉人名

加茂 守 (1934-2020)

現在、多くの人々が当たり前のように手に触れる「たまごパック」。割れやすい卵を守り、大量陳列を可能にしたこの便利な製品は、猪名川町出身の加茂守さんが、1963年頃に多くの人々のアドバイスや、身近な生活にあるものからヒントをえて発明した製品です。発明された「たまごパック」のおかげで、たくさんの新鮮な卵が安い値段で全国の家庭に届けられるようになりました。このときに発明された「たまごパック」は、現在までに外観をほとんど変えないほどの優れた発明でした。また、使用後もリサイクルできるような工夫も施されているなど、地球環境にも配慮した製品づくりを行いました。

(2) 偉人マンガのねらい

猪名川町出身の加茂守さんが、世界に誇れるような、たまごパックを発明したことについて紹介します。そして、次世代を担う子どもたちが、加茂守さんの生き方から自らの将来の生き方や働き方、社会における役割等を考え、目標を持ち、それに向かって主体的に取り組む力を高めるとともに、ふるさと猪名川への誇りと愛着を育む学習教材とします。

(3) 今後の取り組みについて

町内の小中学校での学習教材としての活用、図書館での配架、社会教育施設での展示などの活用を考えています。

(4) マンガの閲覧について

刊行した冊子は、助成事業で印刷しているため、一般販売は予定しておりませんが、町立図書館に複数冊配架する予定で、一般貸出を行います。また、今後、HP上でも公開する予定です。町内小学生へは学習教材として、電子書籍として配布する予定です。

(5) マンガの発行数

1,000冊

【問合せ】

猪名川町教育委員会 教育振興課社会教育室

おや
親の生みの親のたまごパック

マンガ
ふるさとの
偉人

加茂守

かもまもる

The Creator of Egg packs

Mamoru
Kamo



兵庫県猪名川町

たまごパック下側(八角錐)を見つめる加茂守さん